

テーマ

## 「農地利用状況調査の強化」

隠岐の島町農業委員会

### 活動内容

本委員会では、農地利用状況調査の実施体制や実施方法を改善し、さらなる調査精度向上を目指している。

これの実現のため、県内においてきめ細かい調査及びフォローアップ体制を構築している県内農業委員会へ視察研修として赴き、意見交換をさせていただいた。

どのような実施体制でどのような地図等を用いて調査を行っているのかを、実物を見ながら農業委員本人と意見交換ができたことは、改善すべき点の発見等さらなる調査精度の向上を目指す上で、大変有意義な場となった。



〔意〕 見交換の風景

### 取り組み成果

利用状況調査の実施について、農業委員より多くの提案が出ている。

これらを踏まえた実施体制に改善していくことで、さらなる調査精度の向上が見込める。

### 会長コメント

全筆の農地を調査し、その調査結果に基づき必要な指導等を行う農地利用状況調査は大変な作業であるが、あらゆる農業施策を実施するにおいて、無くてはならない重要な情報であり、その精度向上が求められている。

他委員会の取り組み等を参考にして、今後もさらなる調査精度向上を図っていきたい。

テーマ

## 「遊休農地情報の共有」

隠岐の島町農業委員会

### 活動内容

本委員会では、遊休農地の解消を委員会活動の大きな柱として活動している。本町でも高齢化による担い手不足等のため遊休農地が年々増加してきており、農地の維持・復旧が喫緊の課題となっている。

本町では、遊休農地の発生防止・解消を実現するためには「行政」「農業委員会」「住民」の三者がスクラムを組み、遊休農地情報の把握及び共有を図ることが重要であると考え、機動力のある情報共有体制の整備をすすめているところである。「行政」だけ、「農業委員会」だけ、「住民」だけでは遊休農地解消活動に限界があるが、それを三者がそれぞれ補いあうことで、きめ細かい解消活動が実現できている。



〔遊休農地発生を未然に防ぎ作付けできた農地〕

### 取り組み成果

「行政」「農業委員会」「住民」の三者で遊休農地情報を共有できていたため、農業をやめようと考えている農家等をすばやく把握することができ、遊休農地化を未然に防ぐことができた事例が増えてきている。

今後も遊休農地の発生を未然に防ぐことを重視して活動していきたい。

### 会長コメント

農業委員で日頃から農地パトロール等の活動で農地を見て回っているが、担当範囲も広く、農地情報のすべてを把握するには限界がある。

そこに住む住民同士が情報を共有し合い、それを行政や農業委員へ情報提供することで行政や農業委員の目の届かない部分も補うことができる。

これからも三者の情報共有を図り、遊休農地を発生させない取り組みを行っていきたく思う。